

1 区分目標及び各事業のKPIの推移

- ・重複5事業を含まない全71事業、93項目のうち、対基準値では、良化が49項目、悪化が32項目、横這が7項目、実績なし又は新規が5項目であった。
- ・基本目標2において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて観光施策関連等の指標悪化が続いている。

	区分目標数	推移 (対基準値)				事業数	重複していない事業数、 項目数	推移 (対基準値)			
		良化	悪化	横這	実績なし 新規			良化	悪化	横這	実績なし 新規
基本目標1	4項目 4指標	2	2	0	0	13事業	11事業 12項目	8	4	0	0
基本目標2	4項目 4指標	2	2	0	0	25事業	23事業 29項目	11	13	3	2
基本目標3	5項目 5指標	3	2	0	0	15事業	14事業 25項目	14	10	0	1
基本目標4	4項目 5指標	2	2	1	0	23事業	23事業 27項目	16	5	4	2
合計 (R4実績)	17項目 18指標	9	8	1	0	76事業	71事業 93項目	49	32	7	5

※同一基本目標内で重複する事業項目は含まない。

2 基本目標ごとの取組における評価

(1)力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションの取組や起業創業の支援、沼津しごと応援サイトの運用等により、市内における従業者数が増加するなど、雇用の創出に一定の成果が見られた。</li> </ul>
(2)沼津への新しいひとの流れをつくる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業で実績値が悪化しているが、令和3年度と比較すると回復傾向にある。</li> <li>・中心市街地歩行者数では基準値を超えるとともに、社会移動数では転入超過を達成した。</li> </ul>
(3)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、子育て支援の充実により、子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合は高くなっているものの、出生数や子育て世帯数は依然として減少傾向にある。</li> </ul>
(4)新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査における「総合戦略の重要度」で第1位となった「災害に強い安全・安心な生活環境づくり」のため、津波避難路の点検、再整備や自主防災組織における対応強化を図るとともに、ともに支え合うコミュニティの活動支援、防犯まちづくりなどに取り組み、安全・安心、快適な生活の確保について一定の成果を挙げたものの、沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合は減少した。</li> </ul>